

株式会社 東陽地区ふるさと公社

経営状況報告

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月31日

地方自治法第243条の3第2項の規定により、株式会社 東陽地区ふるさと公社の
経営状況を説明する書類をここに提出します。

令和8年9月24日 提出
八代市長 小野 泰輔

目 次

令和7年度 株式会社 東陽地区ふるさと公社事業報告書……	P1
令和7年度 株式会社 東陽地区ふるさと公社損益計算書……	P2
令和7年度 株式会社 東陽地区ふるさと公社貸借対照表……	P3
令和7年度 株式会社 東陽地区ふるさと公社財産目録………	P4
令和8年度 株式会社 東陽地区ふるさと公社事業計画書……	P5
令和8年度 株式会社 東陽地区ふるさと公社予算表………	P7

令和 7 年度事業報告書

●第 22 期実績

単位:千円

	前年	予算	実績	増減(予算比)	予算対比	前年対比
売上	233,962	249,330	242,914	△6,416	97.4%	103.8%
粗利益	102,278	123,204	120,615	△2,589	97.8%	117.9%
人件費	52,519	61,270	62,769	1,499	102.4%	119.5%
一般経費	54,451	60,430	59,462	△968	98.3%	109.2%
営業利益	△4,692	1,504	△1,616	△3,120	—	—
当期純利益	△1,631	5,952	2,598	△3,354	—	—

令和 7 年度（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）は、売上高 242,914(千円)、前年同期比 8,952（千円）の増収、指定管理料を除く粗利益は 95,651(千円)、前年同期比 4,843（千円）の増益、当期純利益は 2,592(千円)、前年同期比 4,229（千円）増益で増収増益となった。(株)東陽地区ふるさと公社第 22 期は売上、粗利益ともに前年を上回ったが予算を達成する事が出来なかった。また当期純利益は 2,598（千円）の黒字となったが、八代市からの人件費高騰の補填とチップの補助金の分が黒字という結果となった。また、令和 7 年度より市からの指定管理料が増額されたが、最低賃金の引き上げ、燃料代高騰の影響をうけ、粗利益は伸びているが、営業利益は△1,616（千円）と厳しい状況だ。さらに客数がレジ通過数 216,113 人と前年比 97.5%、約 5000 人減少している。原因は直売所の客数が前年比 95%、約 6000 減少している事が大きく影響している。高齢化や近年の異常気象により、農産物の不安定な出荷状況の影響もあるが、今後も粘り強く出荷者の募集し生産者の確保や、仕入品による売場づくりを強化し客数を増やしていきたい。温泉は入湯者が年間約 93,293 人、売上 26,566（千円）と前年並みの結果となったが、人件費、燃料代の増加で当期純利益△16,369(千円)と昨年より約 5,000（千円）赤字が増えている。市の方でも入湯料の改定を検討中だが、施設としても改善できる事を検討していきたい。レストランは、客数 20,956 人、前年比 115.8%、売上 34,738（千円）と前年より約 5,000(千円)増収、粗利益率 64.2%と昨年度よりさらに改善されているが、今期も価格改定によるさらなる売上の確保、粗利益の改善を進めていきたい。さんぐらんは売上 28,363（千円）前年比 106.9%粗利益率も 52.7%と前期より 4.2%伸びており好調を維持している。今後も「ちくワンドック」などの種類を展開し売上を伸ばしたい。販売管理費は、人件費が前年より約 9,800(千円)増加、一般経費は燃料費が約 3,500（千円）増加している。また、電気代が約 500(千円)、衛生費も約 1,200（千円）削減できたが、今後も最低賃金の引き上げが予想され、売上に対する人件費を考えると、今期はさらなる売り上げ確保が必須である。

令和7年度(第22期) 損益計算書

株式会社 東陽地区ふるさと公社
令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】	167,418,698	167,418,698
【 売 上 原 価 】		
期 首 棚 卸 高	3,142,677	
仕 入 高	47,259,940	
合 計	50,402,617	
期 末 棚 卸 高	3,599,168	46,803,449
売 上 総 利 益		120,615,249
【販売費及び一般管理費】		122,231,291
営 業 利 益		△ 1,616,042
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	43,492	
雑 収 入	4,404,652	4,448,144
【 営 業 外 費 用 】		
雑 損 失	19,044	19,044
経 常 利 益		2,813,058
【 特 別 損 失 】		
税引前当期純利益		2,813,058
法人税、住民税及び事業税		215,156
当 期 純 利 益		2,597,902

令和7年度(第22期)貸借対照表

株式会社 東陽地区ふるさと公社
令和8年3月31日 現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現預金計	22,347,091	買掛金	6,772,688
売掛金	1,449,796	未払金	13,449,192
当座資産計	23,796,887	前受金	55,000
商品・貯蔵品	4,273,090	預り金	350,650
棚卸資産計	4,273,090	未払法人税等	208,500
立替金	180,339	未払消費税等	3,621,000
未収入金	6,159,041	流動負債計	24,457,030
前払費用	132,050	長期未払金【固定負債】	880,000
その他流動資産計	6,471,430	負債の部合計	25,337,030
流動資産計	34,541,407	純 資 産 の 部	
建物	1,066,730	株主資本	15,421,849
機械装置	1	資本金	50,000,000
工具器具備品	232,213	利益剰余金	△ 34,578,151
一括償却資産	620,522	(その他利益剰余金)	△ 34,578,151
有形固定資産計	1,919,466	繰越利益剰余金	△ 34,578,151
ソフトウェア	763,142	(うち当期純利益)	(2,597,902)
保険積立金	3,534,864		
投資その他資産計	4,298,006	純資産の部合計	15,421,849
固定資産計	6,217,472	負債・資本の部合計	40,758,879
資産の部合計	40,758,879		

令和7年度(第22期)財産目録

株式会社 東陽地区ふるさと公社

令和8年3月31日 現在

単位:円

科 目	金 額	
1.資産の部		
I.流動資産 現金	2,596,988	
(普通預金) 肥後銀行 宮原支店	9,634,506	
八代地域農協 北部総合支所	4,456,019	
ゆうちょ銀行	4,454,252	
ゆうちょ銀行 振替口座	1,177,568	
PayPay銀行	27,758	
売掛金	1,449,796	
商品・貯蔵品	4,273,090	
前払費用	132,050	
立替金	180,339	
未収入金	6,159,041	
流動資産合計		34,541,407
2.固定資産		
(1)固定資産 建物	1,066,730	
機械装置	1	
工具器具備品	232,213	
一括償却資産	620,522	
(2)投資その他資産		
ソフトウェア	763,142	
保険積立金	3,534,864	
固定資産合計		6,217,472
資産合計		40,758,879
II.負債の部		
1.流動負債 買掛金	6,772,688	
未払金	13,449,192	
未払法人税等	208,500	
未払消費税等	3,621,000	
前受金	55,000	
預り金	350,650	
長期未払金	880,000	
流動負債合計		25,337,030
負債合計		25,337,030
正味財産		15,421,849

第2号議案 令和8年度事業計画(案)・予算(案)について

1. 令和8年度事業計画(案)について

令和8年度は(株)東陽地区ふるさと公社としては第23期目、3年間の道の駅東陽の指定管理者としての2年目となる。前期より八代市からの委託料も増額され、1年目となる令和7年度に施設内の設備のメンテナンスや修繕、ホームページのリニューアル、新電力会社への切り替え、また、1番の目標としている粗利益率も改善され、ある程度の目標は達成したと考えている。特に、レストラン、パン工房部門は奥田課長を中心に営業努力を行い、売上、粗利益率も伸びている。しかし、現在の社会情勢の影響を受け、人件費、原材料費、燃料費、光熱費の高騰の影響をうけており、満足する純利益を残すことはできなかった。ただし、令和7年度のスタート時期より社員、パート、アルバイトなど人材的な部分は体制が整っており、全部門とも前期以上の売上、粗利益率の改善を目標とし、定期的にミーティングを行い社員全員で取り組んでいく所存である。また、今期も引き続き施設としてつながりが強い、「観光振興課」、「フードバレー課」、「ふるさと納税推進室」が取り組まれる企画やイベントに参加し連携を深めていく。部門別の計画は下記に記載しているが、去年は特に客数が落ち込んでおり、今期特に力を入れたのが、直売所「菜摘館」である。異常気象や生産者の高齢化などの影響もあるが、改めて直売所の魅力を考え直し、市場や町外の生産者からの直接仕入を増やし、豊富な品揃えによる客数の増加を目指す。また、これまで集客を目的とするイベント等をあまり行なっておらず、今期はイベントの開催を時期ごとに行う事を目標とする。

各部門の重点施策

1. 菜摘館（東陽町農産物林産物直売所）

① 農産品の確保

地域野菜の確保と東陽町外からの野菜の確保
農産品の集荷の実施（運転できない生産者など）
新規生産者の確保
市場仕入品の強化

② 各団体、施設との連携

熊本県農産物ネットワーク構築事業への参加
八代地域物産館連絡協議会との連携
東陽町 RMO 推協議会との連携
東陽加工グループとの連携

- ③ 県・市と連携した商品開発
県南フードバレー、八代市フードバレー課の事業を活用した商品開発
国内外の商談会への参加（オリジナル商品の販路拡大）
- ④ 県・市と連携したイベント販売への参加
定期的なイベント販売への参加（ビブレス広場、県庁）
地域イベントへの参加（夏祭り、桜まつり）
- ⑤ ふるさと納税返礼品業務（野菜セット、不知火等柑橘類）
- ⑥ 学校給食への食材納入（保育園、学校給食センター、わかあゆ支援学校）
- ⑦ 石匠館、中学生ボランティアガイドとの連携、石工プロジェクト活用

2. 夢あかり（温泉）

- ① 常に安心・安全・清潔な温泉の提供（日常管理・衛生管理・清掃）
- ② 機械・機器類の確実な点検及び設備の改修
- ③ 清掃方法の効率化
- ④ 温泉施設の PR 活動（自社 HP、湯遊び、各種サイト）
- ⑤ 定期的なポイントサービスイベント

3. さんふるる（レストラン）

- ① 定期的なメニュー開発、季節毎のメニュー提供
- ② ゆったりプラン、法事、宴会等の定期的なメニュー変更
- ③ 団体送迎プランの営業活動（チラシ配布）
- ④ 原価率の引下げと収益改善
- ⑤ ソフトクリームを使用したデザート開発
- ⑥ 風呂の日バイキング継続

4. さんぐらん（パン・物産）

- ① 定期的な商品の入れ替え
- ② 季節限定パンの製造
- ③ ちくワンドックの製造、販売会への参加
- ④ ちくワングッズの開発、販売（ユースタイルさんとの連携）
- ⑤ コストコ商品の販売継続

5. 本部

- ① 効率的な人員配置（不足人員の補充）
- ② 経費の有効活用（無駄な経費の削減）
- ③ SNS からの施設情報の発信
- ④ グーグルビジネスページの運用継続

令和8年度予算

単位:千円

		金額	内訳		備考
収入合計(A)		130,410			
項 目	委託料	24,964	委託料	24,964	
	営業収入	103,846	菜摘館	34,755	167,500
			温泉	29,965	30,100
			レストラン	24,896	38,100
			さんぐらん	14,230	31,000
その他	1,600	鍵委託料・その他	1,600		
支出合計(B)		128,910			
	人件費	68,865	給与	59,400	
			賞与	3,120	
			法定福利費	6,145	
			退職金		
			福利厚生費	200	
	事務費	2,270	販売促進費	1,240	
			通信費	550	
			事務用消耗品	180	
			その他	300	
	事業費	43,941	水道光熱費	16,595	
			燃料費	16,240	
			メンテナンス費	2,950	
			リース料	2,408	
			広告宣伝費	923	
			消耗品	4,825	
			衛生費	4,824	
	管理費	7,477	修繕費	2,098	
			車両費	555	
			租税公課	84	
	その他経費	6,357	寄付金	120	
			運賃	2,760	
			支払手数料	1,742	
			雑費	328	
			旅費交通費	860	
			その他	463	
収支(A-B)		1,500			